

# 令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立五条幼稚園 学校協議会

## 1. 総括についての評価

全ての取組について、保護者アンケート結果が、目標値を大きく上回り、達成している。幼稚園の自己評価は適切である。さらなる高みを目指すこともできるだろう。今後も教職員間の連携を基盤とし、公立幼稚園の質の高い幼児教育を進めていってほしい。

## 2. 年度目標ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進

- 令和7年度の本園アンケート調査で、以下の項目について、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と回答する保護者の割合を全学年で95%以上とする。
  - ・「幼稚園は、子どもたちが安心し、安全に遊べる環境を整えている」
  - ・「子どもは、喜んで登園し、様々な人との関わりを喜んでいる」

○ 達成状況の評価に関しては適切である。

- ・安全な環境に加え、専門性の高い養護教諭の存在は保護者にとっても安心である。
- ・子どもたちを取り巻く環境を大切であると考え、工夫していることが分かる。国技である相撲やわらべ歌遊びなど伝承遊びなど、幼児期に触れられる環境の尊さを感じることができた。将来の子どもたちの感性や豊かな心の育ちに大きく影響するだろう。
- ・多種多様な子どもたちにとっての受け皿となっている公立幼稚園の存在はとても大きい。教職員の連携が不可欠の幼児教育において、五条幼稚園は教職員が同じ方向を向いてしっかりと連携を図れていることが分かる。

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

- 令和7年度の本園アンケート調査で、以下の項目について、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と回答する保護者の割合を全学年で95%以上とする。
  - ・「幼稚園は、発達段階に応じた教育内容をすすめるために、教職員の資質向上を図っている」
  - ・「子どもは、健康な生活に関心をもち、生活に必要な活動を自分でしようとしている」

○ 年度目標に対する達成状況の評価に関して、適切である。

- ・毎日、毎週欠かさず綿密な保育案を立案し、保育をすすめていることで、きめ細やかに配慮されていることが分かった。今後もPDCAサイクルを続け、質の高い保育を目指していってほしい。
- ・生活習慣については家庭との連携が不可欠である。そのために教材の工夫や保護者への発信・啓発を工夫している。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

- 令和7年度の本園アンケート調査で、以下の項目について、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と回答する保護者の割合を全学年で95%以上とする。
  - ・「幼稚園は、近隣の学校園等と関わりをもてるように連携を図っている」
  - ・「幼稚園は、教育内容や子どもの育ちなどを様々な方法で保護者や地域に発信している」

○達成状況の評価に関しては適切である。

- ・近隣の学校、施設との連携は目標を大きく上回っておこなわれていることは大いに評価できる。
- ・地域の様々な人との関わりをもつことができたことで、地域の一員としてしっかりと位置づいている。
- ・幼稚園は毎日送迎時に保護者と直接顔を合わせる。日々の些細な変化や育ちをタイムリーに伝えることができている。

### 3. 今後の学校運営についての意見

- 子どもたちの安心・安全に幼稚園生活を送ることができるように、引き続き環境の見直しに加え、未来ある子どもたちに多種多様な経験をすることができる環境や機会をもってほしいと願う。
- 子どもたち一人一人のありのままを大切にした質の高い幼児教育を進めてほしい。
- 地域への発信として、教育内容の発信に努め、五条幼稚園をより多くの人に知ってもらえるように幼稚園運営を進めてほしい。
- 近隣学校園や地域との交流を継続し、公立幼稚園として、地域の一員である子どもたちを地域も一体となって育てていけたらと考える。